

## 2021年室蘭市 中島商店街のBCPを考えるフォローアップ①

日時	令和3年8月5日(木) 18:30~20:00
場所	中島商店会コンソーシアム『ふれあいサロンほっとな〜る』
参加者	13名
講師	北星学園大学 経済学部 経営情報学科 鈴木克典氏

■ 「中島商店街BCPを考える」についての振り返りと今後の展開

### I. 講義：「中島商店街PCBを考える」について

中島商店街に一番詳しいのは澄んでいる住民(=参加者)。BCPの基本方針である「安全確保・従業員を守る」、「コミュニケーション強化」、「近所の助け合い」を盤石にすることが重要。その上で地震や洪水などさまざまな災害が起きた際の被害を具体的に想定し、事前の対策を考える。横のつながりが増えることが、緊急時の体制を整え、防災を定着させることや地域連携・地域貢献につながっていく。

#### 【防災定着のポイント】

- ・商店街独自の避難訓練を楽しく行なう ・地域の振興組合、町内会、学校銀行、消防団などとの連携を深める ・イベント+防災で楽しく交流し防災意識を広める

街づくりは「つくる」ものではなく「育てるもの」。防災イベントを通じて育てていくことができる。中島は様々な業種が揃っているので、イベントでどう活用できるのかを考えたい。

### II. グループワーク：商店街ができる防災イベント

前半…「イベントのターゲット設定」「自分ができることのアイデア出し」

後半…「イベント案の深堀①すぐにできるもの ②時間がかかるもの」「ステイクホルダー(利害関係者)の洗い出し」「中島商店街らしさのある仕掛け」

#### 【イベントを考えるポイント】

- ・「らしさ」を考えることが地域貢献につながっていく。
- ・ここでやる目的・意義を考える(例：啓蒙、交流、疑似体験、学生の学びの場、防災訓練)

- ・商店街が関わる以上、商店街へのつながりを意識する

- ・短期・中長期で整理を行なう

#### 【各班グループワーク結果(イベント案)】

	すぐ取り組めるもの	時間がかかるもの
1班	まずは横のつながりづくり	具体的なイベント案は未決
2班	災害時の食ワークショップ	商店街式の炊き出し
3班	焚火と絡めたキャンドルや炊き出し	避難疑似体験

【鈴木克典氏の講義の様子】



【1班グループワーク後の発表】



【2班グループワーク後の発表】



【3班グループワーク後の発表】

